

団体名:ふれあいガーデニングクラブ

秋の園芸福祉学習会



■活動の内容

ふれあいガーデニングクラブは、まちなみの美化と潤いのために、個人宅や施設にプランターを置いたり、空き地に花壇を作ったりする活動を行い、地域住民と一緒に花植えやその世話をを行うことによって、お互いに交流し、つながり合える居場所や暮らしやすい街をつくらうとしている団体です。

今回は、施設の空き空間などを利用して、車いすでも土いじりができる「レイズドフラワーベッド」を設置し、高齢者や障がい者も草花の世話を楽しめるようにするにはどうすればいいか考える「園芸福祉学習会」を見学しました。

- 日 時 令和6年10月26日(土)14時～16時
- 場 所 (福)名古屋キリスト教社会館会議室
- 内 容 園芸福祉学習会
- 参 加 22名



園芸福祉の時代

(2)園芸福祉の範囲・領域

②園芸福祉活動の実践領域

グリーン・ツーリズム	農業生産	園芸福祉活動の 展開可能な分野	保健医療	福祉サービス
市民参加	農地利用		介護福祉	職業訓練
コミュニティの 活性化	都市整備	環境美化	学校教育	福祉事業
市民参加の 強化推進	生涯学習	オープン ガーデン	公民館等 との連携	総合学習

「外部から講師を招いて開催した園芸福祉について学ぶ会」に出席した参加者は、興味深そうに話を聞いていました。ワークショップでは、マップに記載の昨年度のプランター設置場所に、新しいプランター設置場所を追加したりと、一歩ずつ広がっている活動に皆さんが意欲的で、会話も弾んでいました。次回の会合にて作成する“レイズドフラワーベッド”の構想を発表し合いながら、次へのステップに向かっていました。

園芸福祉の時代

(2)園芸福祉の範囲・領域

①園芸福祉活動のとらえ方

仲間づくり
活動・実践を通じて
仲間づくり

豊しく過ごす
活動・実践を通じて
豊しく過ごす

豊しく過ごす
活動・実践を通じて
豊しく過ごす

みんなで作っていきましょう
活動・実践を通じて
みんなで作っていきましょう

1.いま、なぜ園芸福祉の時代なのか

(3)園芸福祉活動の可能性

- ①健康増進や福祉的側面から
- ②地域づくりやコミュニティ醸成の側面から
- ③青少年の教育的側面から
- ④農地の有効活用の側面から

